

富士見高原学園の利活用に係るサウンディング型市場調査 実施結果

江東区立富士見高原学園の処分を検討するにあたり、本施設の市場性を把握するとともに、公募条件の設定に必要な情報の収集を図るため、民間事業者等とサウンディング（対話）を実施しました。

1. 実施経過

実施方針の公表	令和3年6月21日
現地見学会・説明会	令和3年7月7日（未実施）
サウンディング参加申込期限	令和3年7月15日
サウンディングの実施	令和3年8月4日

2. 参加事業者

(1) 現地見学会・説明会
参加希望事業者なし

(2) サウンディング参加者数
1グループ

3. 調査内容及び対話により得られた意見

(1) 現状有姿での活用について

（民間事業者等による具体的な活用方法、購入するにあたり必要な条件）

- ・地域の産業振興に資する施設
- ・宿泊研修施設、体験学習施設
- ・体育館や館内などの構造物を活用したドローンの訓練施設

(2) 現状有姿以外での活用について

（民間事業者等による具体的な活用方法、購入するにあたり必要な条件）

特になし

(3) 売却以外の方法による活用方法

特になし

(4) 自由意見

- ・八ヶ岳のネームバリュー、小淵沢ICからのアクセス等立地条件は魅力。
- ・当該事業に対する需要の高まりや、全国における産業活性化を図りたいため、早期の売り払いを希望する。
- ・施設の劣化については承知しているが、区の教育施設として長きに使用されてきた歴史があり、有効に活用していきたいと考えている。